

リハビリテーション科より

MCIって、ご存じですか？

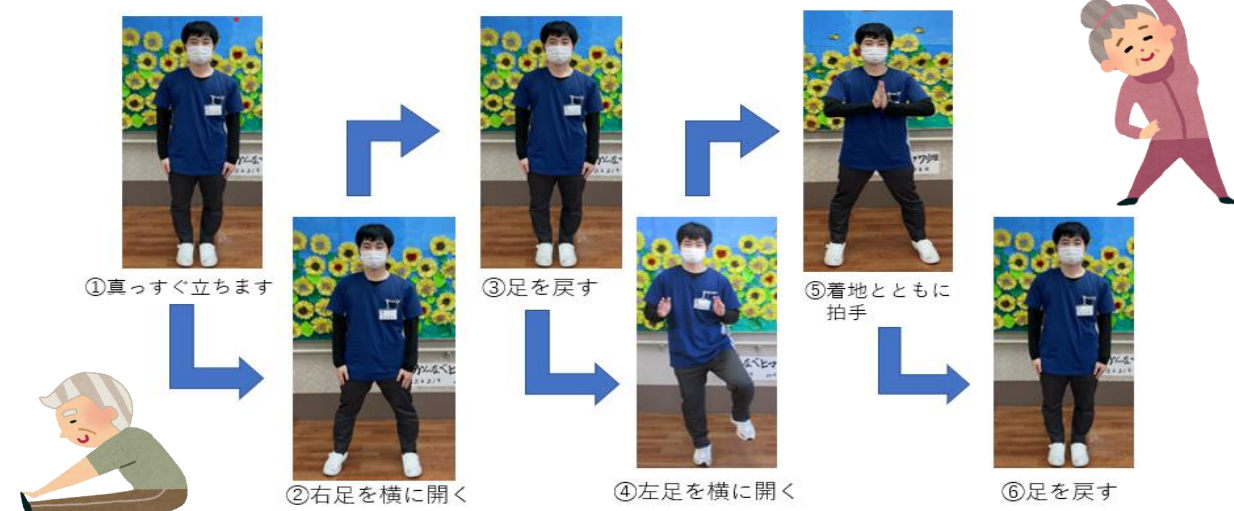
MCIとは、mild cognitive impairment の略称で、日本語では「軽度認知障害(けいどにんちしょうがい)」と呼ばれています。軽度認知障害とは、認知症の前段階であり、日本全国で約400万人いると言われています。MCIの定義は以下の通りです。



- ☑ 年相応以上の記憶障害
- ☑ 全般的な認知機能は正常
- ☑ 日常生活は自立
- ☑ 認知症ではない
- ☑ 本人・家族に物忘れの自覚がある



軽度認知障害の方の、5～15%の方は認知症に移行すると言われていますが、その一方で16～41%の方は健康な状態に戻るとも言われています。そのため、日頃からの認知症予防が大切です。今回は、認知症予防のための運動をご紹介します。ご家族の方や、ご友人と一緒にやってみましょう！



永年勤続表彰



編集後記

新年明けましておめでとうございます。
2024年新年の広報誌では部署の抱負を聞いてみました。
広報委員の2024年抱負は……発行部数1万部(！?)を目指していきます！！
今年もどうぞよろしくお願いいたします。

広報委員一同



ほほえみ



広報誌 第21号 2024年1月発行



新年あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、少しは感染対策から解放されるかと思いきや、インフルエンザが季節問わず猛威を振るったりと、まだまだ気を緩めることができない一年でした。常にマスクをして仕事をするのにも慣れ、手洗い・うがい・換気が大事であるという意識もかなり浸透してきました。感染対策に慣れたことで、少し気持ちや仕事にゆとりが出てきたように感じています。

同時に介護科としては転倒による怪我や介護中の皮膚剥離が続いたり、反省点の多い一年ともなっていました。そんな私たち介護科が新たに取り組み始めたのが転倒防止対策の強化です。昨秋より、まずは人の目の薄まる時間を少しでも無くそうと業務の改善を行いました。自分で動ける利用者様でも転倒のリスクはあるのだという意識付けも行ってきました。そして、利用者様本人が転倒しにくくなるようにと下肢筋力の維持・増強にも取り組んでいます。初めは一日一回の立位訓練をするだけだった取り組みも、今は足漕ぎペダルを導入し、日々の運動や活動の増加、新たなレクリエーション体操を取り入れたりと進化しています。今年は転倒を減らす……いや、無くす！気持ちで頑張ります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

看護介護部介護科 介護士長 栗栖 紀世子



医療法人 紅萌会
介護老人保健施設ビーブルかなべ
広島県福山市神辺町川南547番地7
TEL 084-960-0881 FAX 084-963-0884



看護科



利用者1人1人に寄り添い、安心・安全な看護の提供をします。

診療科



安心した施設生活を送れる様に支援します

リハビリテーション科 栄養管理科



リハビリ

1人1人の“できた”を大切に

栄養士

コミュニケーションを大事にし、個々に合った食事の提供を心掛ける

居宅介護支援事業所



在宅の生活が継続できるように利用者・家族を支援していきます

ビーブルかなべ 部署紹介 2024年抱負

清掃係



清潔に保つ心を忘れない

支援相談科

利用者・家族様がより良い生活ができるように取り組んでいきます!!

介護科



明るい笑顔で優しい介護

事務科



皆の為にあと一步

通所リハビリテーション科



笑顔で明るく元気良く!! 喜んでもらえるように日々アップデート